医療AIのための人材育成の現状と展望

3. 岡山大学における医療AI人材 育成プロジェクトの取り組み

谷岡 直樹 岡山大学学術研究院医歯薬学域AI人材養成産学協働プロジェクト

多様性

2021年に文部科学省「保健医療分野 における AI研究開発加速に向けた人材 養成産学協働プロジェクト | に採択され、 東北大学, 北海道大学, 岡山大学の 3大学が保健医療分野の課題に関する AIを用いた研究開発を行う人材育成教 育拠点を樹立し、1年半が経過した。岡 山大学医療 AI プロジェクト (https:// clinicalai.hsc.okayama-u.ac.jp/) では、 複数の学部教員による多様な指導チー ムが、さまざまな診療科に所属する多様 な大学院生の多様な AI 課題を支援する 「多様性」が特徴である。本稿では、岡

山大学医療AIプロジェクトの概要に加 えて、企業やデータサイエンス (DS) 部 (https://okadai-dsc.studio.site/) と行 う独自の共同研究. 一般社会へのAI教 育普及の取り組みを紹介する。

多様な指導教員

岡山大学の体制として. 医療系学 部・研究科だけでなく, 工学部を中心 とした学部横断的な AI・データサイエ ンスの研究組織「Cypher (サイバーフィ ジカル情報応用研究コア)」、AI・IoT・ セキュリティ関連技術分野で共同研究 をめざす企業と大学研究者などからなる 「OASIS (おかやま AI・セキュア IoT 共 創コンソーシアム)」の教員が運営委員 会に参加している (図1 a)。運営委員会 では予算執行, 事業進捗管理のほか, 教員. 大学院生が研究紹介を行い. 議 論する場としている (図1b)。

また. 東北大学. 北海道大学と合同で. デザイン思考. コーチングの研修を定期 的に行いながら、 互いの施設を訪問する サイトビジットを行っている (図1 c)。 さらに、毎年秋に合同シンポジウムを、 毎年冬にアニュアルシンポジウムを行い. 大学院生の発表について議論し、かつ 各大学を代表する AI 研究者の講演を 行っている (図1 c)。

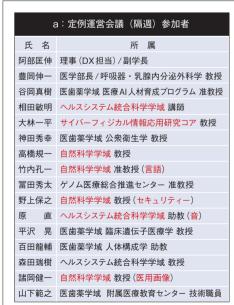






図1 多様な運営チーム

a: 学部横断的な定例運営会議参加者(赤字は医療系学部・研究科以外の教員), b: 定例運営会議における研究紹介, c: 東北大学, 北海道大学との交流